

川崎市は人の話し声を聞きやすくする高感度の「音子」制御機器の伊吹電子(川崎市、松田正雄社長)が開発した「川崎ものづくしブランド」認定製品で、市が行政サービスに本格的に採用するのは同製品が初めて。一月下旬から順次、導入する。

設置する音声拡聴器は「音子」が認定した二〇〇四年の第一回ものづくりブランド製品(六製品)の一つ。伊吹電子がこれまでに福祉施設に無料配布したほか、市内では川崎信用金庫に七に計五十台を常備する。市内の中小企業が開発した。「川崎ものづくしブランド」認定製品で、市が行政サービスに本格的に採用するのは同製品が初めて。一月下旬から順次、導入する。

役所窓口 声聞きやすく

「川崎ものづくしながら耳に当てると相手との話し声を聞きやすくなる。川崎市の役所窓口で、この製品が採用される。川崎市の役所窓口で、この製品が採用される。川崎市の役所窓口で、この製品が採用される。」

川崎市、伊吹電子の拡聴器導入 市内中小 支援の一環

川崎市は、市内の中小企業を支援する一環として、伊吹電子が開発した音声拡聴器の導入を決めた。川崎市向けは標準セットからイヤホンとストラップを取り除き、アルミチェンや金属リング、プラスチックケースなどを追加して出荷する。同社は二十日までに納品する予定だ。一台当たりの価格は一万二千九百円で、東急ハンズの一部店舗で取り扱っている。伊吹電子は一九七一年四月創業。パターン設計やプリント基板製作・実装を手掛ける。川崎市は昨年、中国の胡錦濤国家主席が来日した際、贈答品としてクリアーボイスを調達したことがある。



神奈川